



まごころ



第47号
2022年
1月発行
慈英病院
広報誌

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します。

新年のご挨拶

2022年を迎えました。皆様は如何お過ごしでしょうか？

今年の年初のご挨拶に明るい話題を提供したいところですが、2020年に新型コロナが感染拡大し始めた時には、2年たっても社会全体に影響を与え続けるとは思いもしませんでした。

それまで、普通に行えていた事(例えば入院家族の面会等)がここまで制約をうけるとは考えもしませんでした。院内に感染を持ち込ませない為にはやむを得ない処置とご理解をお願いします。そのような状況の中でも少しでもお役に立てればと、職員が中心となって対応策を考え行っております。

例えば、1階ロビーに降りることが可能な患者様には、短時間でも家族と面会してもらったり、それが困難な患者様には、顔や姿をビデオに撮り、タブレット端末にてご家族に見せたりと十分とはいかないまでも少しでも対応しようとしております。

おそらくインフルエンザの「タミフル」のような特効薬が出てきても、毎年ワクチンを打つことが必要になり、大勢で集まることやマスクをしなくてよくなる事は当面訪れないと考えております。

さらに、今年になってオミクロン株の蔓延です。国内では1月現在、1日8万人を超える患者が発生しております。現在、先が見通せない状態ではありますが、日本はワクチン接種や日々の感染対策(手洗い・うがい・マスクの着用)を行っているおかげで重症者や死者は、諸外国に比べて少ない状況が保たれております。これは日本人の努力の結果であると考えております。

感染対策で皆様にはかなりの御負担をかけておりますが、今年も今の状況が継続すると思います。なにとぞ、御配慮と御協力をお願いいたします。

医療法人社団 栄正 慈英病院
理事長 前田 正存

頑丈な非常階段を設置しました。



近年自然災害が多い中、当院では今回新たに東病棟のベランダから屋上へ上がる事が出来る非常階段を設置しました。患者様やスタッフが上り下りがしやすい様に階段の横幅は広く、角度が高くならないよう、途中に踊り場を設けています。今後も避難後の必要な物品を再度確認・準備し、スタッフ全員が患者様をスムーズに避難誘導ができるように訓練を行っていく予定です。



通所リハビリ、クリスマス会



クリスマス会を2日間にわけて開催しました！



ビンゴでプレゼントゲット♪

クイズ大会も頑張りました！！

お正月 行事食



～1/1 昼食 お品書き～

- ・ 赤飯
- ・ 鶏の照焼き
- ・ ブリ味噌漬焼き
- ・ 祝い折り(煮物)
- ・ 昆布巻き
- ・ かまぼこ
- ・ 信田巻き
- ・ 紅白なます
- ・ 栗きんとん
- ・ 黒豆
- ・ 祝い華(ねりきり)

元日はお正月料理をお出ししました。
お昼ごはんは写真のようなお重に入れて提供しております。
今年も患者様に寄り添った美味しいお食事をお出ししていきます。

栄養給食科 管理栄養士 津曲

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種が始まります。

令和4年1月より、新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目接種)を行います。対象者は、**18歳以上の当院にて2回目接種を終了した方のうち、概ね8カ月以上経過した方**で、ワクチンの種類はファイザー社製ワクチンを使用いたします。ワクチン数に限りがあるため接種券が届きましたらお早目にご予約をお願いいたします。

☎0985-23-5000

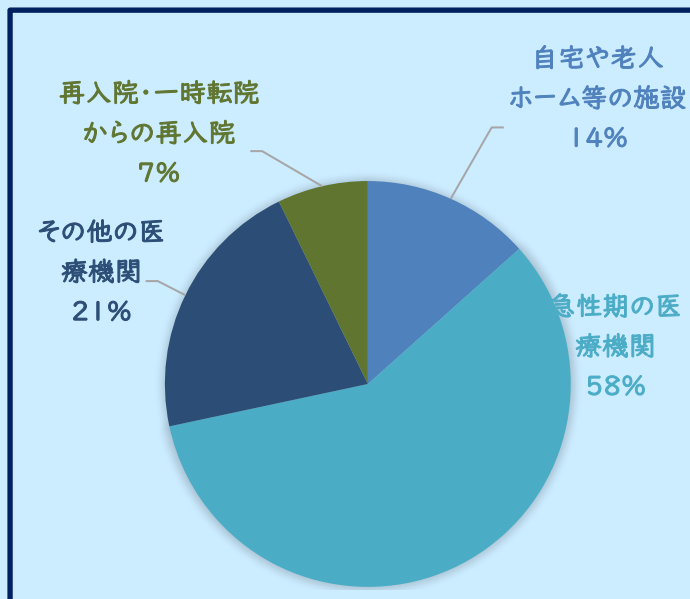
◆接種スケジュール◆

2回目接種完了月		3回目接種月
令和3年4・5月	→	令和4年1月以降
令和3年6月	→	令和4年2月以降
令和3年7月	→	令和4年3月以降

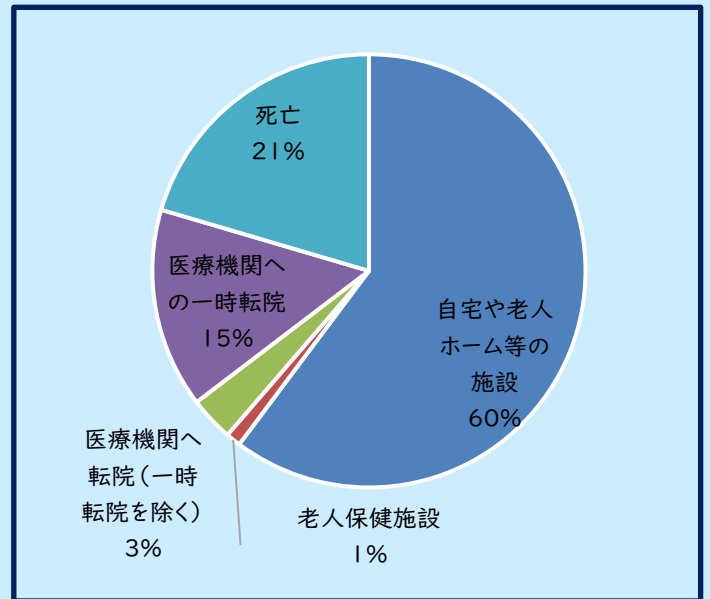
2回目接種完了月		3回目接種月
令和3年8月	→	令和4年4月以降
令和3年9月	→	令和4年5月以降
令和3年10月	→	令和4年6月以降

クリニカルインディケーター 2021年(令和3年)

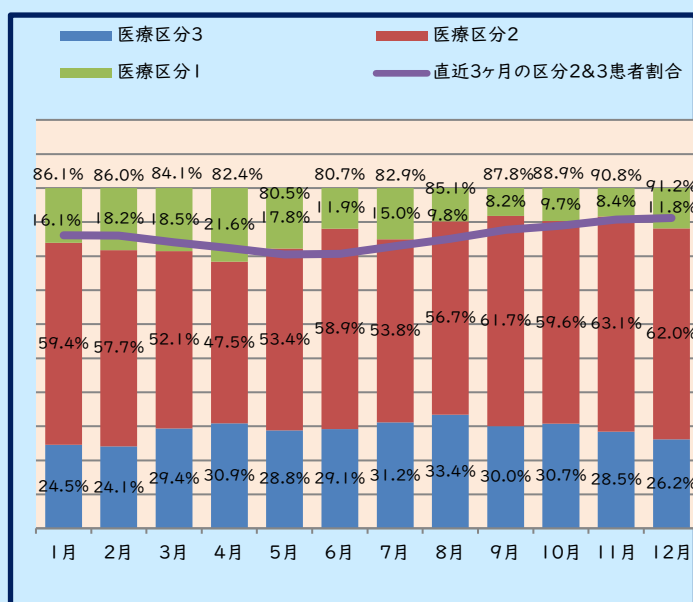
前方連携の状況(令和3年度)n=194



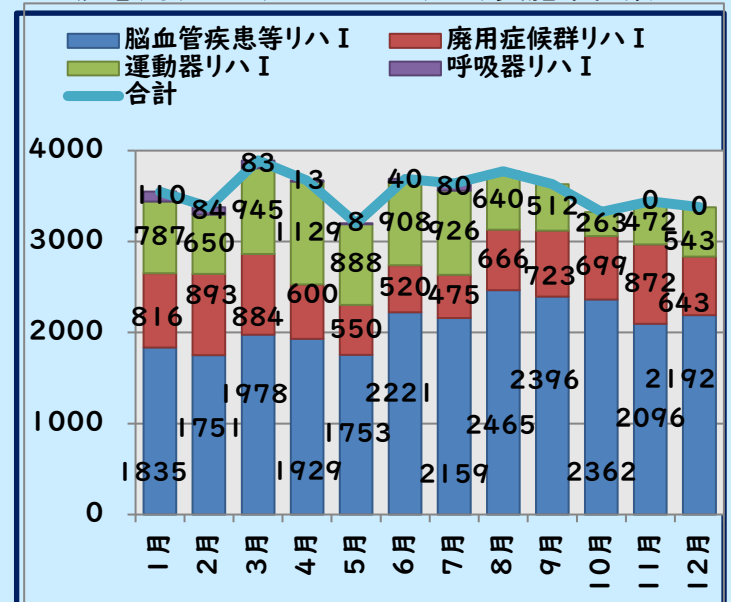
後方連携の状況(令和3年度) n=181



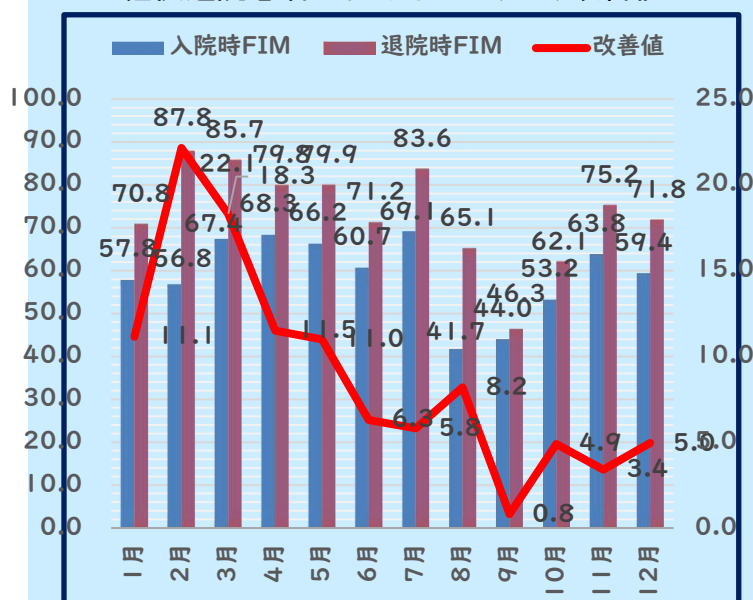
医療区分(*1)別入院患者の割合



疾患別リハビリテーション(*2)実施単位数



軽快退院患者におけるFIM(*3)改善値



参考) グラフ内の用語説明

*1「医療区分」

医療療養病床に入院された患者様の入院基本料において、医療の必要度を3段階で表したものです。

「医療区分1・2・3」と、数が多くなるほど医療が必要となります。例えば、中心静脈栄養、呼吸器装着、指定難病、24時間の観察が必要な患者様は、医療区分3となります。

*2「疾患別リハビリテーション」

主となるリハビリの治療内容に応じて医師が判断して行います。1単位は20分です。

*3「FIM」

世界共通のADL(日常生活動作)評価表です。指標として110点以上で介助に必要な時間は0分です。点数が低くなるほど、介助に必要な時間は長くなります。最低18点、最高126点です。